

和光市カーシェアリング実証実験の結果

2024年11月

本田技研工業株式会社
ホンダモビリティソリューションズ株式会社

ねらい

脱炭素社会に向けた公用車の効率的な運用

コンセプト

公用車の「台数適正化＋カーシェア」をワンパックで手間なし導入

公用車
台数適正化

車両予約管理
最適配車

+

カーシェア
EveryGo

公用・私用シェア
公用車との統合管理



自治体

※状況に応じて個別サービスでの提供も可

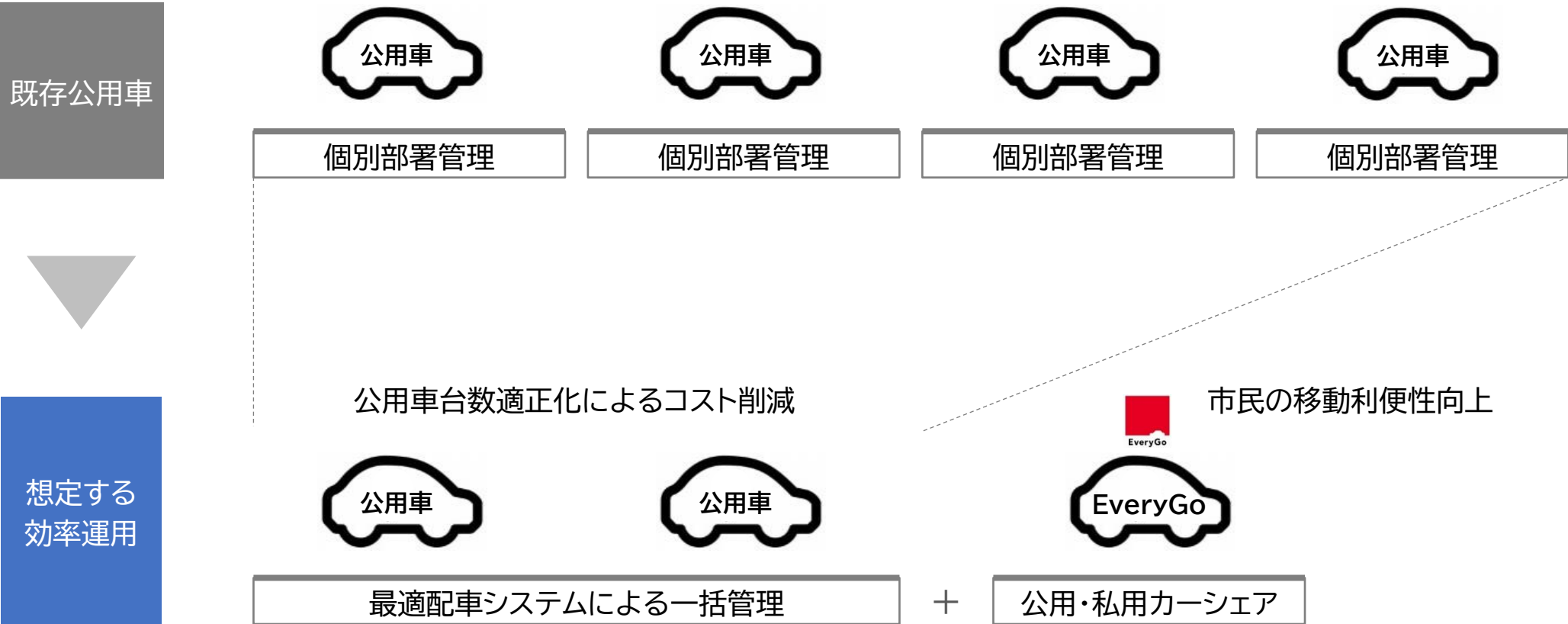
価値

- 公用車台数の適正化

車両の最適配車により移動ニーズを満たしながら**公用車の台数を削減**(EveryGoカーシェアの併用によりさらなる台数削減が可能)

- 市民の移動利便性向上

公用・私用で共用するEveryGoカーシェア車両を複数台設置することで**予約できない不満を解消**



公用車の台数適正化とカーシェアの導入により車両にかかわる費用を削減

検証①

公用・私用カーシェアリング

部署ごとの個別管理

公用車

公用車

公用車

公用車



EveryGoカーシェアで置き換え

2パターンのシェア形態を検証

公務時間外 私用開放

平日・昼間
公用

休日・夜間
私用

終日 公用・私用シェア

公用

私用

市民との車両シェアにより大きな問題がないことを確認

検証②

公用車の最適配車システム

少ない車両で多くの移動需要を満たす運行管理

従来

検証システム

予約



予約

最適配車
システム



・利用日時
・利用車両

・利用日時

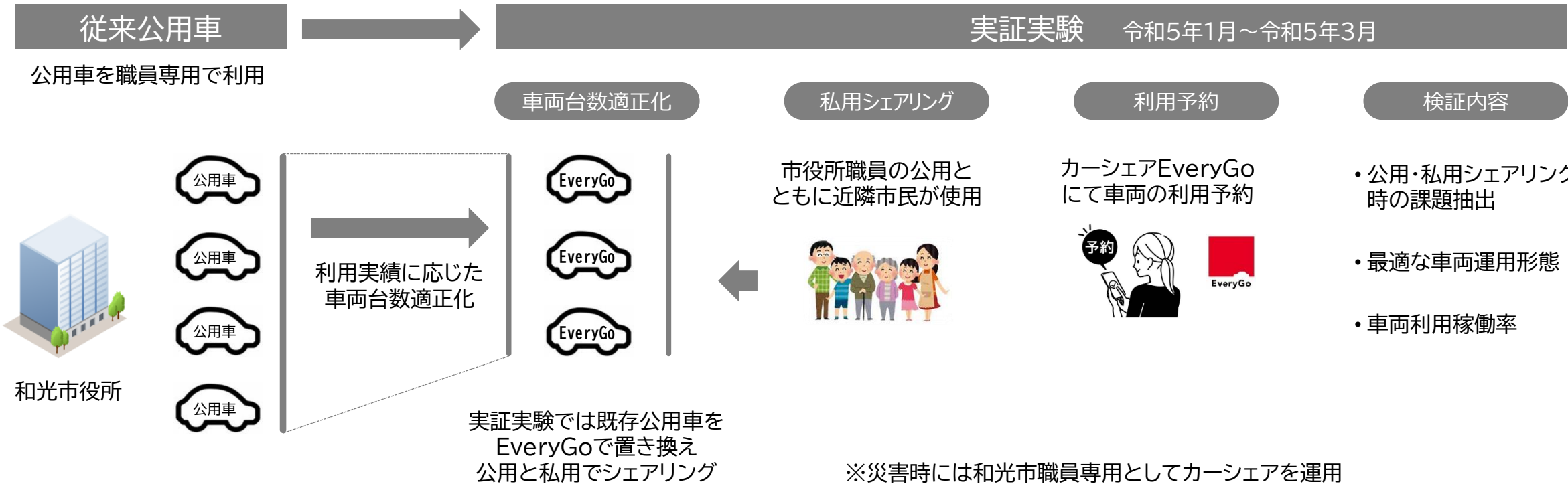


ユーザーが指定した車両を使用

システムが配車した車両を使用することで
効率的な運用が可能

「管理方法」と「予約システム」の2つの観点から、利便性を損なわずに稼働率を最大化できるかを検証

EveryGoカーシェアを導入し、公用と私用のシェアリングを実施
シェアリング時の課題と利用実態を検証



■ 公用 ■ 私用

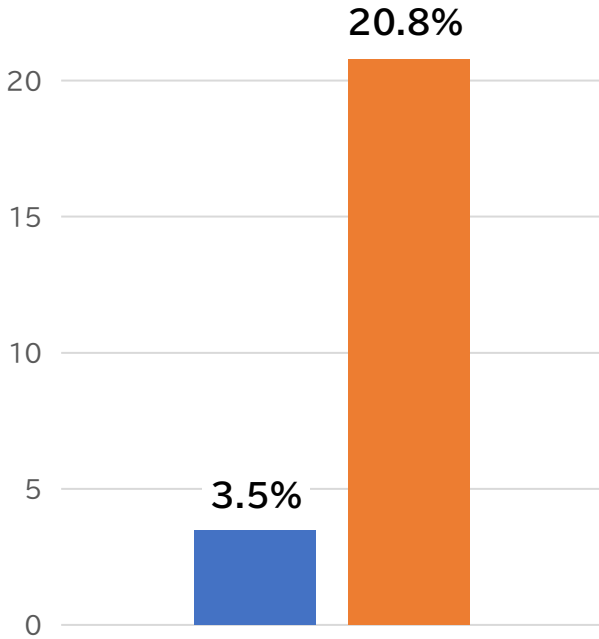
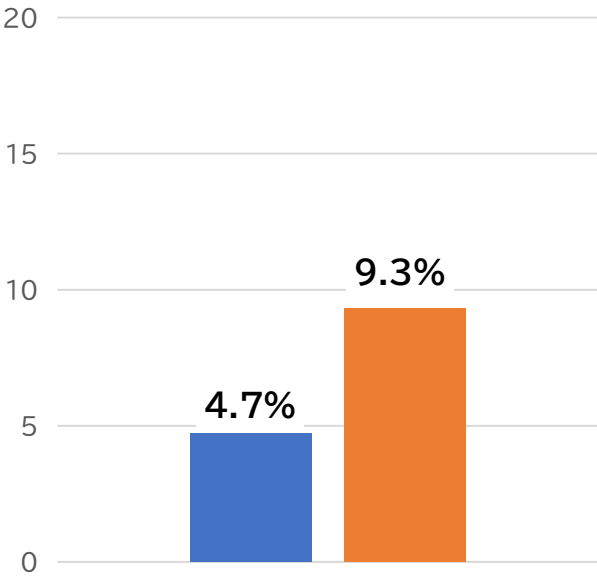
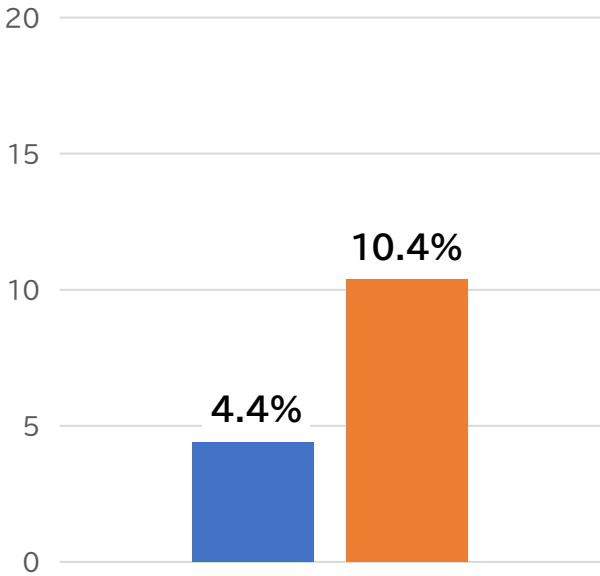
市役所 3台平均

中央公民館 1台

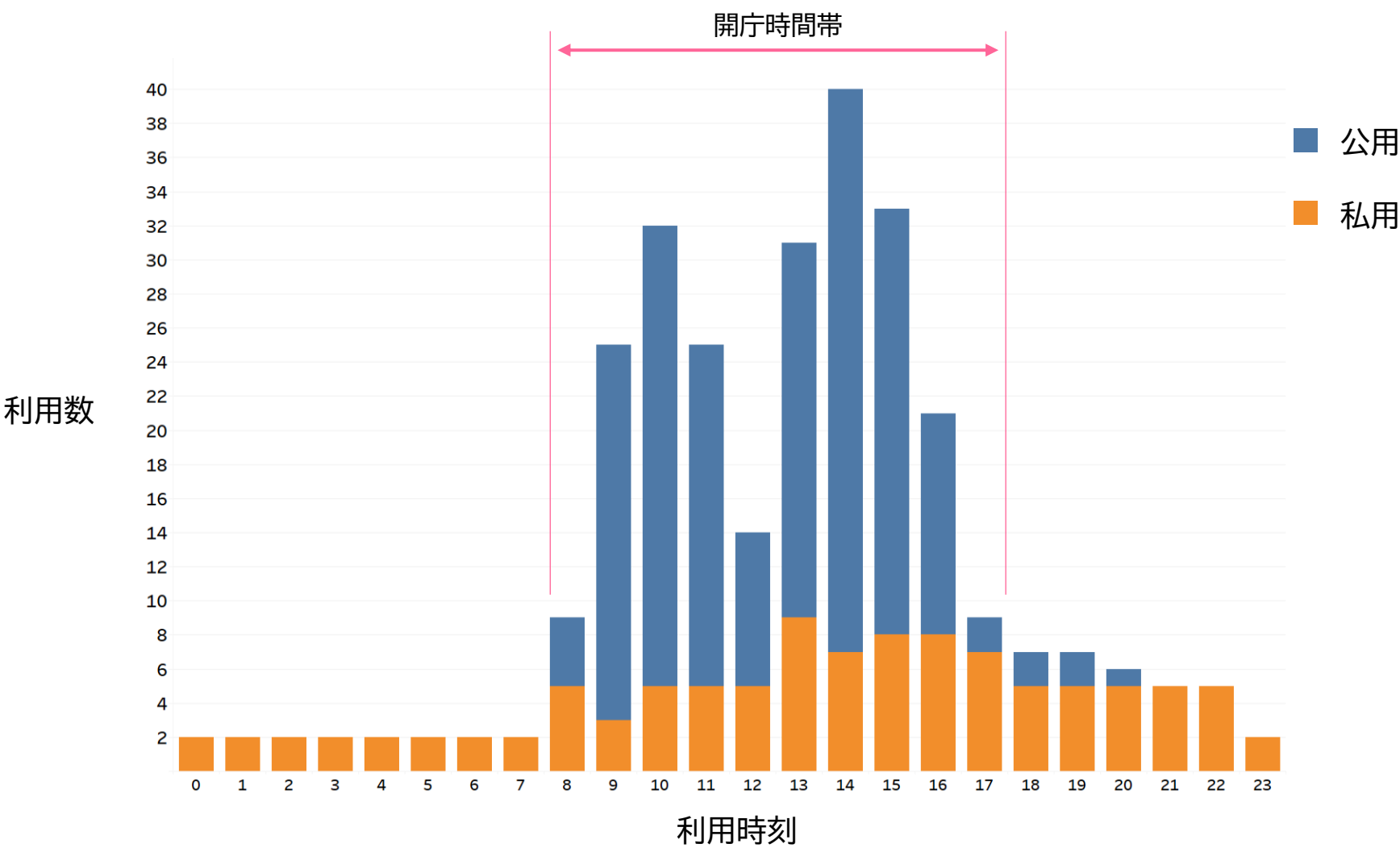
開庁時は職員専用
閉庁時は職員と市民でシェアリング

職員と市民で終日シェアリング

職員と市民で終日シェアリング



運用形態に関わらず、私用カーシェアに加え公用が加わることで高い稼働率が見込める

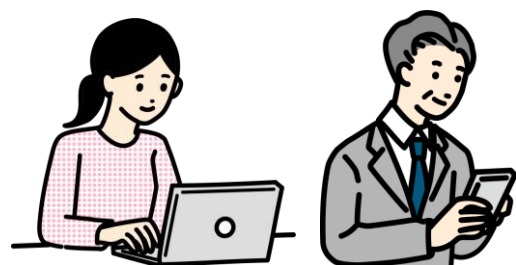


通常カーシェアサービスでは稼働率が低い平日においても公用利用により稼働率の向上が見込める

個人端末から車両予約

車両を指定しない最適配車予約
(用途によって車両指定も可)

利用1時間前に車両確定メール
(車両確定タイミングは状況に応じて変更)



車両をおまかせで予約し
システムが効率的に配車

利用開始日時
2023-10-19 17:00

利用終了日時
2023-10-19 18:00

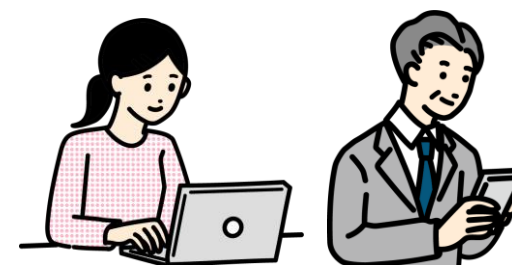
利用開始日時と
利用終了日時のみ入力

☒ 車両おまかせ
※車両がもっとも有効活用されます

☐ 車両カテゴリ指定
※指定カテゴリを増やすほど車両が有効活用されます

☐ 車両指定
※車両が有効活用されません

予約



クラウド管理

駐車場

鍵ロッカー



運転日報

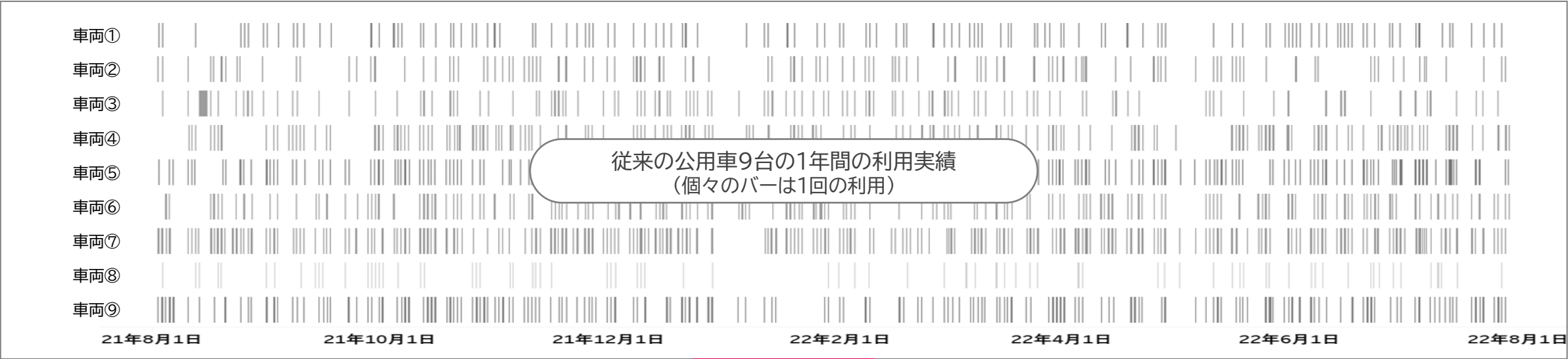


予約システムと連携

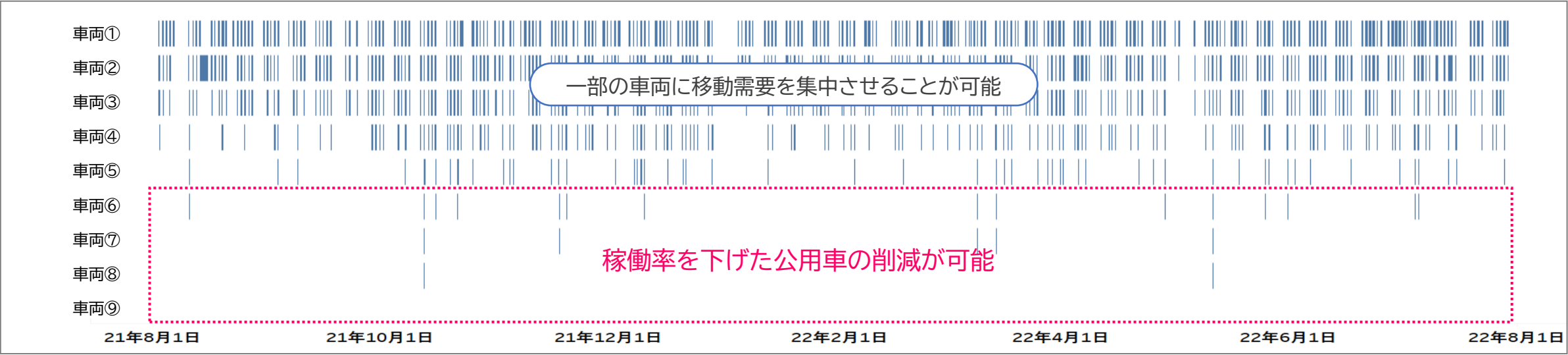


公用車の削減シミュレーション

公用車9台の1年間の利用実績をもとに配車最適化シミュレーションを実施

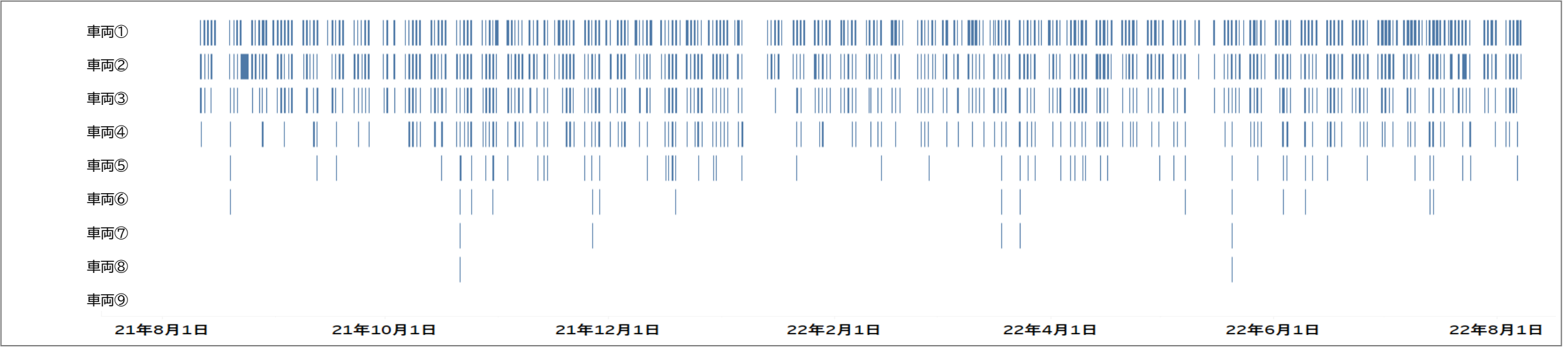


配車最適化

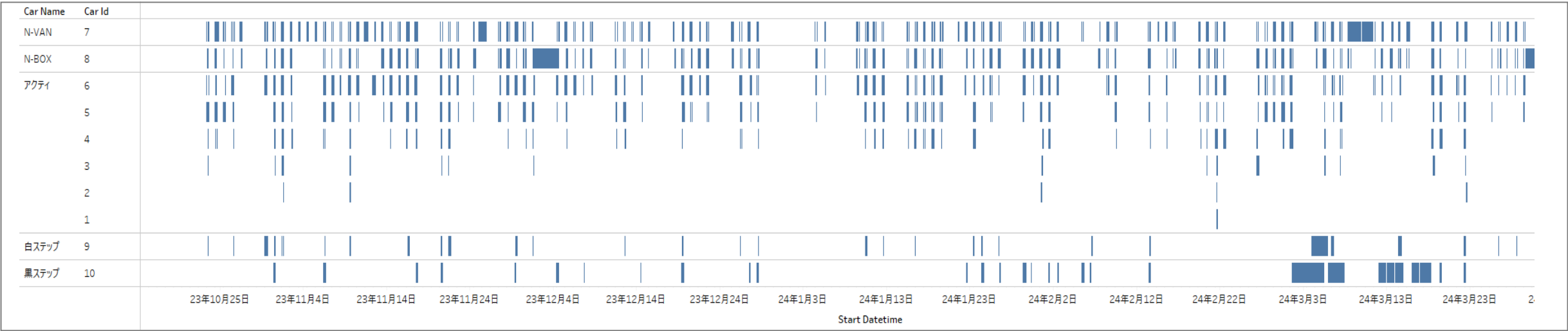


最適配車により少数の車両で移動需要を満たすことが可能となる(需要変動にはカーシェアで対応)

シミュレーション結果

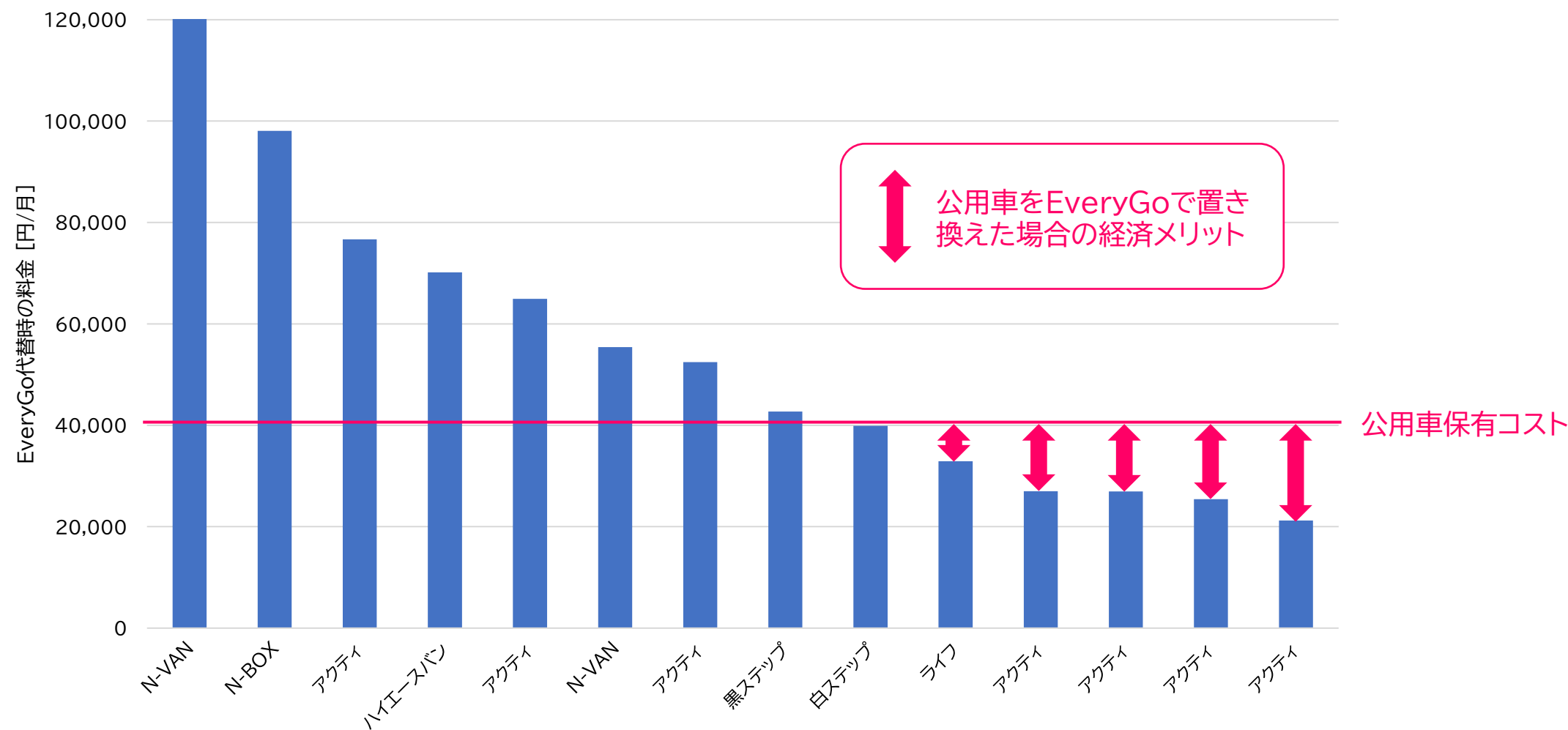


実証実験結果



実証実験では事前のシミュレーションと同様の結果が得られ車両削減が可能となる

公用車の利用実績をEveryGo利用料に置き換えた場合の費用



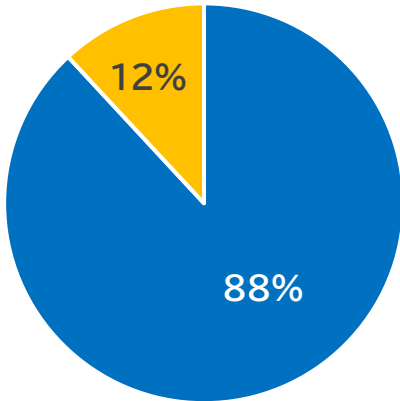
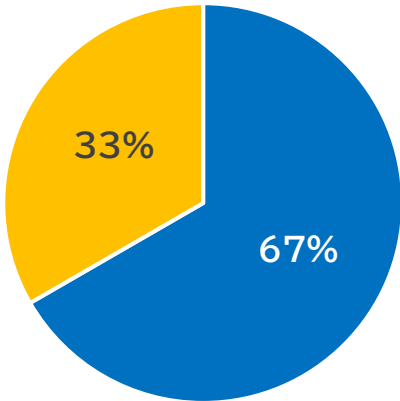
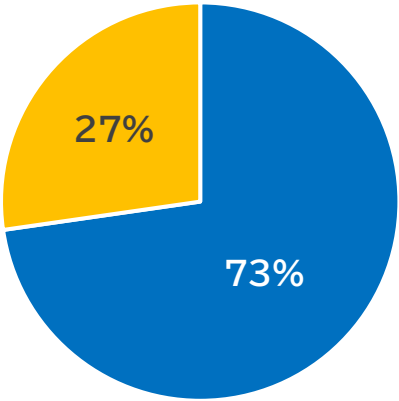
公用車のEveryGo代替により14台中5台で経済メリットが出せる

Q.「予約管理システム」の運用に問題がありますか？

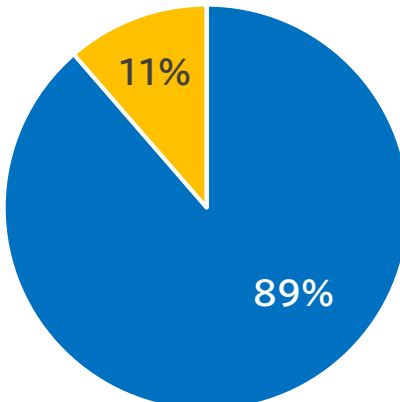
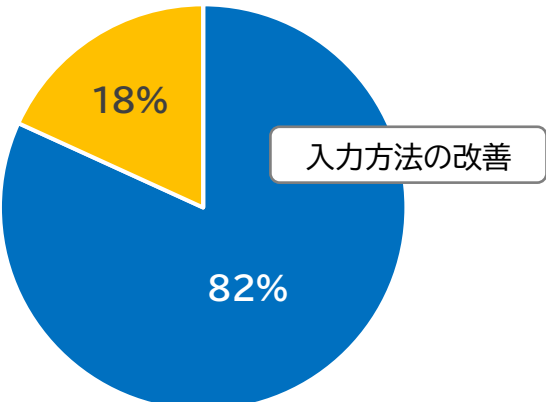
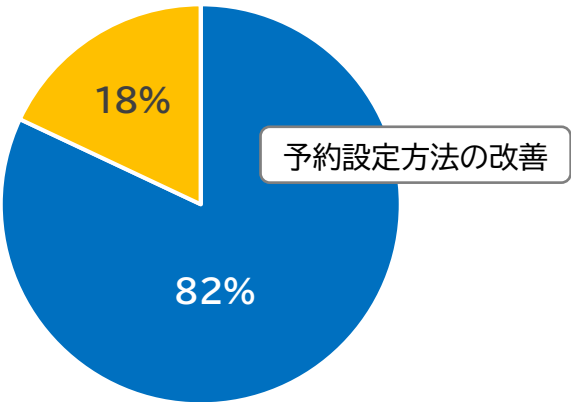
Q.「デジタル運転日報」の運用に問題がありますか？

Q.「鍵ロッカー」の運用に問題がありますか？

第1回調査
2024年3月



第2回調査
2024年8月



■ 問題ない ■ 問題があるが利用できる ■ 問題があり利用できない

ユーザーの大半が利用に問題なしとの回答、システム改善により受容性が向上

検証項目	検証指標	目標値	結果
公用車の台数適正化	削減台数	30%以上	○ (EveryGo併用で36%)
最適予約システムの受容性	利用職員による受容回答 (ヒアリング/アンケート)	50%以上	○ (82%が問題なし)
鍵管理の方法	利用職員による受容回答 (ヒアリング/アンケート)	50%以上	○ (89%が問題なし)
運転日報のデジタル化	従来管理方法との良否比較 (ヒアリング)	従来管理方法よりも良いと の管理担当者の判断	○ (集計業務の効率向上)

すべての検証項目において目標を達成

- 公共施設にEveryGoカーシェアを設置することで私用(EveryGo一般会員)に数多く利用していた
だき市民の移動の足として活用された
- EveryGoカーシェアを公用(和光市職員)と私用で共用することにより平日・休日ともに高い稼働率
を実現した
- 公用車の効率運用により車両台数の適正化(必要十分な車両台数への削減)が実現可能となった
- 公用車管理とEveryGoを組み合わせることで公用車利用の突発的な移動ニーズに対応できること
に加え、災害時の物資運搬等のニーズにも対応できる体制を整えることが可能となった

ホンダモビリティソリューションズ株式会社

第二ソリューション部 EVソリューションユニット

〒107-6327 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー27F

<https://waigaya.honda.co.jp/user/enquete.do?grp=mobilitysolution&no=20210114>

HONDA
The Power of Dreams

How we move you.
CREATE ► TRANSCEND, AUGMENT